

【三崎】来日中のチリ 稚魚を放流した、放流後
のパブロ・ガリレア漁業 3-4年で漁獲サイズに
次官一行が27日、神奈川県、などと説明を受け
県三浦市の同県栽培漁業 した。

協会を視察、同協会の今 質疑応答で、「アワビ
井利為専務からアワビや の漁獲サイズは「海外か
マダイの栽培漁業につい ら技術を学ぶ人を受け入
て話を聞いた。その後、 れているか」など次々と
マコガレイ、アワビなど 質問が飛び出した。

の種苗生産施設を見学し さらにチリ側がマダイ
た。「漁獲されるアワビ の栽培漁業も話してほし

チリ次官一行、三浦市へ

の大きさは「マダイ種苗 いと要望。今井専務は、
の放流数は」など、予定 マダイ釣は人気があり、
時間を超えて質問が相次 神奈川県では年間1000
いだ。

一行は協会会議室で今 ている、漁業者が漁獲す
井専務から協会組織や事 るよの遊漁者が釣る量が
業内容を聞いたあと、ア 上回っている、約半分は
ワビの漁獲が減少したこ 放流した稚魚が大きくな
とを受けて種苗生産・放 つて獲れている、などと
流が始まったこと、多い 説明した。

年は100万個のアワビ この後、今井専務の説

明を受けながらマコガレ に付着しているアワビの
イ、アワビなどの種苗生 稚魚や出荷直前まで育つ
産施設を見て回り、波板 たアワビなどを興味深げ
た。

アワビなどに質問相次ぐ 神奈川県栽培協を視察



波板に付着しているアワビ稚魚の説明を受けるガ
リレア次官(④から3人目)ら